

平成 21 年 12 月

在デトロイト日本国総領事館

冬期の安全運転

事前の準備：バッテリー、冷却水（不凍液）、ウインドウォッシャー液（原液）、タイヤ空気圧を点検し、給油は早めにしてください。

積載品の準備：雪落としスクレイパー、バッテリー用ジャンプケーブル、携帯電話及び車載充電器、非常用の食料・飲料水、防寒着・帽子・毛布・手袋・長靴等、携帯スコップ、懐中電灯等の積載。厳冬期に車が故障し、動けなくなると、生命が危険にさらされるおそれがあります。（もしもに備えてAAAの会員になっておくといいでしょう。）

凍結しやすい場所を知る：道路の凍結部分は走行中に突然現れます。黄色地に「ICY」とかかれた標識は「路面凍結注意」の標識です、十分に減速して走行してください。また、橋の上、トンネルの出入口、交差点やカーブの手前や日陰は凍結しやすくなっています。走行中のタイヤの音が静かになったときは、路面が凍っていると思ってください。

運転前の注意：厳冬期の屋外駐車では坂でない限りパーキングブレーキは使用しないでATレバーをP（MTの場合は1又はR）にして駐車する。十分に暖機運転（安全のため車庫から出す）する。スクレイパーなどで窓やライトの雪や氷を落とす（ウインドウォッシャー液やワイパーは窓が温まるまで使用しない）。ホイールハウス内の雪や氷を落とす。

積雪・凍結路運転時の注意：米国北部ではほとんどの車が夏冬兼用のM+Sタイヤですが、日本のスタッドレスタイヤ程の効果がありません。速度の速い車に合わせようとしないでスピードを控えめにし、車間距離を十分にとって下さい。急ハンドル、急ブレーキなど「急」の付く操作は避けましょう。ブレーキは直線部分で、早めに、ソフトに、踏みましょう。降雪時にはヘッドライトを点灯し（ハイビームは雪が反射して見えにくくなります。）、ワイパーを使用してください。吹雪などで視界が悪くなったときには無理をしないで安全な場所に一時待機して視界が回復するのを待ちましょう。ラジオなどにより天候の変化に気を配りましょう。

フリージングレイン：日本では見られない現象で、水滴として降ってきた雨が、フロントガラスその他にぶつかった瞬間に凍ってしまう現象で非常に危険です。天気予報でも確認できますからフリージングレインが降っている間は外出を控える。既に外出中の方は暖房を強くし、吹き出しをデフロスター（窓のマーク又はDEF）にしてゆっくりと走行する。

よくある誤解：「ABS付きだから雪道でもすぐ止まれるでしょ？」「四駆だから雪道でもへっちゃらでしょ？」どちらも間違いです、過信しないようにしましょう。

詳しくは当館ホームページから「安全の手引き」をご確認ください。